

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

| | | | |
|---|---------------------------------|------|---------|
| 大学・短期大学名 | 神田外語大学 | 整理番号 | 1-4-007 |
| 応募テーマ | 主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ | | |
| 取組名称 | 英語の自立学習支援の新システム | | |
| 申請単位 | 大学全体 | | |
| 申請担当者 | フランシス ジョンソン | | |
| <p>(取組の概要)</p> <p>申請した取組は、能力や学習スタイルなどの学生の個人差に本格的に対応し、学生が授業以外でも自主的に英語を学習する時間を増やすための学習支援システムである。その中核としてSACLA^{サクラ}というセンターを設けている。本センターには、11言語・15チャンネルの海外放送の受信施設を備えている他、学生が自分で選択した時間・教材・学習スタイルで語学学習ができるエリアや学生が英語を母国語とする教員と交流を図ることができるエリア、それに英語による密度の高い双方向コミュニケーションを実現する多機能教室のエリアを設けている。各エリアはお互いに関連し、教育と学習が多様かつ柔軟に行われるようにしている。センターには専任のラーニング・アドバイザー3名が常駐し、学生が自ら学習計画を立て、その達成度を評価する過程を通して、学習者としての自分を見つめ、究極的には自立した学習者に育っていくように援助している。</p> | | | |
| <p>(採択理由)</p> <p>この取組は、神田外語大学の教育目標である「実践的な外国語運用能力、自ら問題を発見し解決できる能力、異文化コミュニケーション能力の育成」を実現するため、1989年以来 ELI を中心として実施されている教育研究経験の蓄積をベースに発展充実させてきたものと認められます。</p> <p>特に、組織性、継続性、発展性について優れた面があり、全体として優れた特色がある取組で、他の大学に対して十分参考になる事例と認められました。</p> | | | |